

3月12日の欧米株式市場の下落について 新型コロナウイルス対策への失望感などにより下落

2020年3月13日

米国S&P500は1987年以来の前日比下落率に

3月12日（現地、以下同様）の欧米各国の株式市場では、主要株価指数が軒並み10%前後の急落となりました。NYダウやS&P500などの歴史ある指数は、1987年10月のいわゆる「ブラックマンデー」に次ぐ前日比下落率を記録しました。大幅下落の理由としては、以下のような点が考えられます。

- ・ 米国が新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、EU（欧州連合）から米国への入国を30日間禁止する方針を示したことで、経済活動が著しく停滞するとの懸念が高まったこと。
- ・ 上記と同時に打ち出すとみられていた米国の経済対策がまだ断片的な発表にとどまっており、対策の質・量や実現可能性に対し不透明感が強まっていること。
- ・ 3月11-12日に行われたECB（欧州中央銀行）理事会で、資金供給オペレーションと資産買い入れの拡充が決定されたものの、利下げなど、市場の高まっていた期待には届かなかったとみられること。

当面の株式市場は、引き続き不安定な状況が続くとみられます。新型コロナウイルスの感染拡大抑制には防疫体制を強化するしかなく、金融・財政政策の効果は限定的です。しかし、新型コロナウイルスの経済活動への悪影響に対しては、金融・財政政策が適切な対抗策であり、各国が発表した、あるいは今後打ち出すであろう政策が、経済活動の過度な落ち込みを抑制し、その後の回復を支えると考えられます。

欧米株式市場の動向

（2019年3月12日～2020年3月12日）



（出所）Bloombergより大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。